

一緒に楽しみましょう！

体育指導委員さんのお話

あなたのいい汗
応援します！



体育指導委員さんをご存じですか？
4～5ページでご紹介した各種行事で
運営や実技指導などを行っているほか
ニュースポーツの普及などに携わっています。
そこで体育指導委員さんに、活動を通じて
普段感じていることなどを伺ってみました。

スポーツで 人づくり・地域づくり

——お二人が体育指導委員になられたきっかけをお聞かせください。

小原 校区から半ば事後承諾のような形で頼まれて。もう21年前です（笑）。

河合 私はまだ3年目なんです（笑）、総代さんをお願いされて。

——もともと、何かスポーツをやっていたのですか？

小原 僕はたいしたことはやってなくて、遊び半分で仲間のソフトボールとかに付き合う程度でしたね。

河合 私は、器械体操を小学生のころから始め、今も続けています。

——今お聞きした感じでは、お二人のスポーツへの関わり方が違うようですが、日ごろの生活や委員活動を



「笑うと健康に！」

かわいそのえ
河合園永さん
(ニュースポーツ担当)

通して、スポーツや運動の魅力・意味についてどのように感じていらっしゃいますか？

小原 体育指導委員になってから感じたり委員同士で話し合ったりしていることですが、例えば、スポーツ健康講座のような行事に普段参加しない人がもつと参加してくれるといいなあとと思います。生意気なことを言うようですが、健康づくり・体力づくりというよりも、スポーツを通じた人づくり・地域づくりにお役に立ちたいと考えています。僕らは競技スポーツを推進しているのではなく、いろいろな人が参加して、楽しんで、地域の人がふれあってもえられたらと思います。そういう部分に魅力があるし、自分も体育指導委員になってから、人として幅が広がったと感じていますので。

——今日も、皆さん非常に楽しんでいるようでした。

小原 実は、最初はお役でいやいや出てきていた人も多いようです（笑）。でも、楽しさが分かると夢中になっちゃいます。今日もある人に「怪我せんようにやってよ」と言っていたのですが、案の定コテンとなって（転んで）いました（笑）。

河合 気持ちは若い（笑）。

小原 そう。でも、そういうのも含めて楽しみながら、みんなが「大丈夫？」とか声をかけ合っているのも、スポーツを通じた人づくり・地域づくりだし、僕はそれが魅力だと感じています。

——スポーツはコミュニケーションづくりという側面もあるのですね。河合さんはいかがですか？

河合 私は競技スポーツをずっとやってきて、企業や学校で教え、地域の子たちと体操教室もやり、なおかつ体育指導員の活動があつて、いろいろな世界を見てきました。それで感じるの、それぞれの世界に意味があるということ。例えば、アスリートはアスリートの、部活動には部活動の目的があつて、一方で、運動が苦手な人がスポーツに触れるというのもすごく大切なことだし。世代